

ヨーロッパにおける雇用法

「**Employment Law in Europe**」 (Butterworths 出版)

CMS キャムロン・マッケナ雇用グループの弁護士、スーザン・メイン、スーザン・マリオン共監修による新刊書

同書はヨーロッパにおける雇用法に関する実務書で、ヨーロッパで最も頻繁に持ちあがる雇用上の課題に関する情報を包括する。ヨーロッパの主要司法区における法制度を分析し、法的観点からのみならず、慣習、実践面から検討している。

19章からなり、第1章ではヨーロッパ共同体法を概略する。第2章以降は主なヨーロッパ諸国の専門家が担当する。**CMS** キャムロン・マッケナが創立メンバーである汎ヨーロッパ・リーガル・サービス、**CMS** の雇用法専門家を始めとして、以下の諸国からの寄稿である。

- ・オーストリア
- ・ベルギー
- ・デンマーク
- ・イングランド、ウェールズ
- ・フィンランド
- ・フランス
- ・ドイツ
- ・オランダ
- ・アイルランド共和国
- ・北アイルランド
- ・イタリア
- ・ルクセンブルグ
- ・ノルウェー
- ・ポルトガル
- ・スコットランド
- ・スペイン
- ・スウェーデン
- ・スイス

各章は下記項目を包括している。

- ・雇用関係
- ・報償
- ・権利と義務
- ・就労時間
- ・機会均等
- ・雇用終了と一時解雇
- ・若年労働者
- ・出産、及び育児権利
- ・事業移転、及びその文脈で従業員に及ぼす法律の影響
- ・団体交渉権、及びヨーロッパ・ワークス・カウンシル（企業のビジネスに影響を与える事柄に関して意見を求められる従業員団体）
- ・雇用係争
- ・内部告発とデータ保護
- ・人権

また、英国出入国管理法に関する章もある。

ヨーロッパの雇用問題に関する聖書と言え、同分野に興味のある者には非常に役立つであろう。

同書の注文は出版社、**Butterworths** のカスタマー・サービス（電話：+44 (0)20 8662 2000）まで。

CMS キャムロン・マッケナ ロンドン事務所

スーザン・メイン

スーザン・マリオン

電話： +44 (0)20 7367 3000